

《令和7年度 総務部 組織目標》

◆目標管理者

部長	金森 敏行
専門理事	野村 昌良

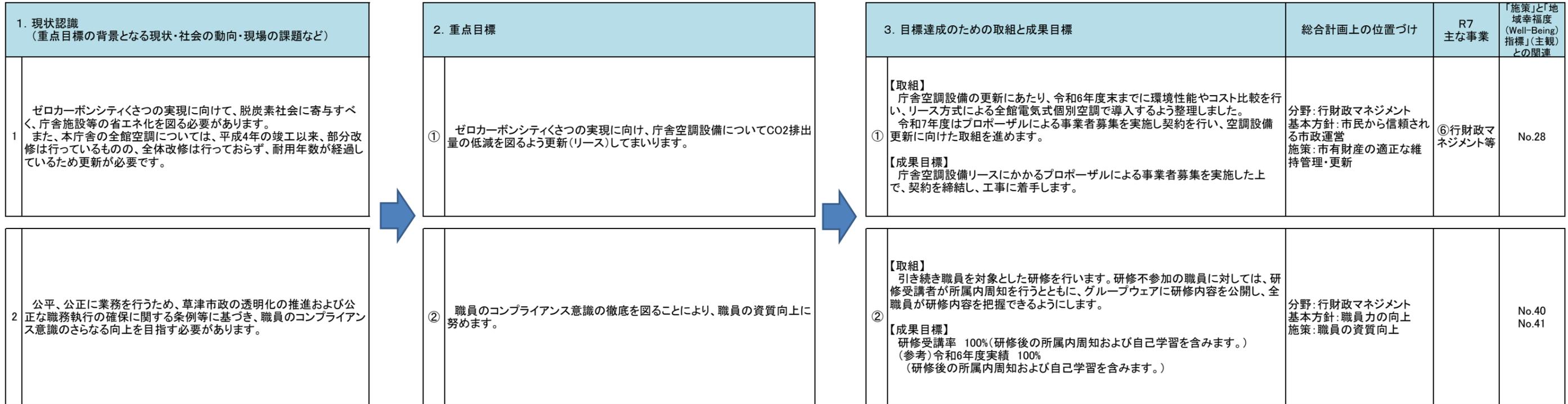
◆部局の役割・目標像

市民から信頼される市政運営

- ◆健全な財政運営の維持
 - ・「草津市健全で持続可能な財政運営および財政規律に関する条例」および「草津市財政規律ガイドライン」に基づき、規律ある財政マネジメントの下、効率的・効果的な予算編成を実施し、適正な執行管理を行うことで、健全な財政運営を維持します。
 - ・市税および国民健康保険税の適正な賦課に努めます。
 - ・税の公平性の確保のため、滞納整理に取り組み、収納率の維持・向上を図ります。
- ◆市有財産の適正な維持管理・更新
 - ・本庁舎においてゼロカーボンシティブックの実現に向けた施設管理を行います。
- ◆情報提供・情報公開の推進
 - ・公共工事や物品等の適正な入札および契約を行い、公正で透明性の高い行政運営を進めます。
- ◆職員の資質向上
 - ・職員の公正、公平な職務執行のためにコンプライアンス(法令遵守)意識の徹底を図ります。
 - ・草津市政の透明化の推進および公正な職務執行の確保に関する条例の適正な運用を図ります。

◆職員数および当初予算規模

所属	職員数(人)				当初予算規模(千円)		
	正規	再任用	会計年度	合計	歳出 (職員費を除く)	特定財源	一般財源
経営層(部長、副部長)	4	0	0	4	-	-	-
総務課	14	0	7	21	651,007	263,786	387,221
財政課	9	0	0	9	5,750,341	996,801	4,753,540
契約検査課	4	0	1	5	9,288	0	9,288
税務課	23	0	16	39	240,415	67,743	172,672
納税課	9	0	6	15	222,757	43,592	179,165
				0			0
				0			0
				0			0
				0			0
				0			0
				0			0
合計	63	0	30	93	6,873,808	1,371,922	5,501,886



1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R7 主な事業	「施策」と「地域幸福度(Well-Being)指標」(主観)との関連
<p>3 物価や人件費の高騰、施設の老朽化に伴う維持管理経費等の増加に加え、社会保障関係経費である扶助費の通増等により、歳出総額に占める義務的経費の割合は4割を超えることが常態化しています。また、本市においても、近い将来、人口減少局面を迎え、人や資金、情報といった経営資源が大きく制約されることが予想される中においても、市民の利便性向上や質の高い行政サービスを提供し、本市が選ばれ続ける都市として更なる発展を遂げるため、戦略的な財源配分や事務事業の整理合理化など、健全で持続可能な財政運営の維持に向けた取組を進める必要があります。</p>	<p>③ ・効率的・効果的な予算編成を実現するため、引き続き分権型予算編成を推進し、各部局の自主性や主体性を尊重した予算編成を行うとともに、事業の選別を厳しく行うことで財源不足の解消を図ります。</p> <p>・「草津市財政規律ガイドライン」に定める各種財政指標の目標遵守を目指すとともに、その達成に向けた取組を推進し、健全な財政運営を維持します。</p>	<p>【取組】 財政運営計画や当初予算の審査において、事業の「選択と集中」により、戦略的な財源配分を行うことで、収支不足を解消し、財政規律の確保を図るとともに、市債の発行を極力交付税措置のあるものに限定することなどにより、実質的な長期債務残高の増加を抑制し、財政健全化判断比率である「実質公債費比率」および「将来負担比率」について、下記の水準を維持します。</p> <p>【成果目標】 草津市財政規律ガイドラインの目標値 ③ 実質公債費比率 当初予算時 7.1%以内/決算時 6.6%以内 将来負担比率 — (算出されず)</p> <p>(参考) 令和5年度決算 実質公債費比率 4.7% 将来負担比率 — (算出されず)</p> <p>(参考) 令和7年度当初予算 実質公債費比率 4.5% 将来負担比率 — (算出されず)</p>	<p>分野: 行財政マネジメント 基本方針: 市民から信頼される市政運営 施策: 健全な財政運営の維持</p>	<p>R7 主な事業</p>	<p>No.18</p>
<p>4 物価高騰分の適切な価格転嫁や時間外労働の上限規制にかかる週休2日制の取組が実施され、適正な条件での請負代金の契約を締結することが必要とされる中、入札手続きには、公平・公正で適正な執行が求められており、本市では、「透明性の確保」、「公正な競争の促進」、「信頼確保」、「品質確保」の4点を基本的な柱として、市民に信頼される発注方法や市民が最も期待する優良な成果物が得られることを意識して、発注を行っております。</p>	<p>④ 発注方針の基本的な柱である「透明性の確保」、「公正な競争の促進」、「信頼確保」、「品質確保」を基に公平・公正でかつ適正な入札執行を行うとともに入札事故を起こさないように適正な事務執行を行ってまいります。</p>	<p>④ 【取組】 発注方針に基づいた公平・公正でかつ適正な入札執行を行うとともに、入札事故を起こさないように適正な事務執行に取り組みます。</p> <p>【成果目標】 入札事故を0件にします。</p>	<p>分野: 行財政マネジメント 基本方針: 市民から信頼される市政運営 施策: 情報提供・情報公開の推進</p>	<p>R7 主な事業</p>	<p>No.42</p>
<p>5 ・毎年の税制改正に伴い、複雑化する市税および国民健康保険税の制度の改正状況を的確に把握し、市民への周知を図るとともに、適正な事務処理を行う必要があります。</p> <p>・景気は回復傾向にあるものの、物価上昇等による地域経済への影響に十分注意し、納税者の状況に応じた丁寧な対応が必要となります。</p>	<p>⑤ ・市税および国民健康保険税の適正な課税を行います。</p> <p>・納税者の利便性を向上するため、口座振替、クレジットカード、モバイル決済サービス、地方税統一QRコード等の納付方法を含むキャッシュレス納付を推進し、今後も納付しやすい環境整備を行うとともに、広く周知に努めます。</p> <p>・滞納額の縮減を図るため、納税者の状況を把握した上で、適切な滞納整理に取り組みます。</p>	<p>⑤ 【取組】 ・確実な事務処理と日程管理を徹底し、適正な課税事務を行います。併せて税の制度や課税内容について、わかりやすい丁寧な説明に努めるとともに、納税通知書に同封するチラシやホームページ等により、わかりやすくするための工夫を行います。</p> <p>・徴収率の向上を図るため、各種納付方法の周知・啓発や滞納者に対する滞納処分を執行してまいります。</p> <p>【成果目標】 ・現年収納率目標 市税：99.2%以上(財政規律ガイドライン) 国保税：94.5%以上(滋賀県国民健康保険運営方針)</p> <p>(参考) 令和6年度実績数値(3月末現在) 市税：97.1% 国保税：87.1%</p> <p>(参考) 令和5年度決算 市税：99.3% 国保税：94.6%</p>	<p>分野: 行財政マネジメント 基本方針: 市民から信頼される市政運営 施策: 健全な財政運営の維持</p>	<p>R7 主な事業</p>	<p>No.18</p>